



〒892-0841 鹿児島市照国町13-42 カトリック鹿児島教区 電話099(26)5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部



# 新年度の予算を審議、決定

## 経済問題評議会

教区経済問題評議会は一月十六日(金)午後、教区本部で二〇〇九年度の予算を審議した。

で昨年同様に特別献金をお願いすることと合意した。

また、経済問題評議会では教区財政の慢性的な赤字に対し、いつまでも特別献金に頼るのでなく、その

改めて研究し、現状に即して改正していく方向で合意した。

尚、同評議会のメンバーは司教以下小川靖忠神父、J・ハンマ神父、永山幸弘神父、三島春雄神父、寝占敦之神父(以上教区顧問)と信徒評議員の森山茂知さん(国分)、川口茂(加世田)、中野三郎さん(鹿屋)の九人である。

# 教区典 礼 会 委 員 会 新 年 度 の 活 動 方 針 と 研 修 会 日 程 を 決 定

教区典礼委員会は一月十三日(火)、教区本部で二〇〇九年の初会合を開き、これからの活動方針と研修会の内容と日程を決定した。

活動方針では各教会でさまざまな主日のミサがローマミサ典礼総則の緒言に沿った形でささげられるように啓蒙していただくだけでなく、ミサに参加する人たちが真に神のいのちにあずかれるための手伝いとしての典礼奉仕者の養成を目指すことを決めた。

また毎月第二火曜日に勉強会を持つことを決めた。勉強会のテキストは教皇庁典礼秘跡省指針「あがないの秘跡」。

研修会の内容と日程は次の通り。

①「ミサの構造と詩篇朗唱の実践」講師 中野裕明神父と前田昭文さん(声学家・出水教会信徒) 四月二十六日(日) 十三時三十分～十六時三十分。

②「ミサの構造と聖書朗読」講師 中野裕明神父と中松禎夫さん(元MBCアナウンサー・日本基督教団加治屋町教会信徒) 五月二十四日(日) 十三時三十分～十六時三十分。

なお、同委員会のメンバーは以下の通り。 中野裕明神父(委員長)、以下委桃園淳一郎終身助祭(鴨池)、迫一夫さん、山下友子さん(ザビエル)、大

2009年中高生の長崎巡礼 テーマ：今を生きる者として 日時：3月26日(木)～28日(土) 対象：中・高生(新中1生含む) 人数：20人限定 参加費：15,000円 ※離島からの参加者の旅費は主催者が負担します 締切：3月15日(日) 厳守! 問合せ：加世田教会・泉まで TEL 0993(52)2303

## 新風

二歳ぐらいの子供はよく隣人に微笑みかけます。それは自分が幸せなので隣人にもそのことを一緒に喜んで欲しいという気持ちからです。このとき微笑みかけられた隣人がその子を無視すると心答してくる。他の隣人を探します。それでも無視され続けるとこの子の心は傷つき、その傷は一生残るそうです。アメリカ人のある研究者が犯罪を犯した人の幼児体験を調査したところ、九割以上の人が二歳までに隣人に無視された経験を持っていたそうです。

### 自分ではなく他人を喜ばせる

親と子の絆を深めましょう。特に親は自分の満足だけを求めないで、子供に善を行って子供を喜ばせましょう。なぜなら親は強い者だからです。とは言え、聖パウロの言う「強い者」とは信仰的には、意外に親が弱いと思つている子供たちのことかもしれません。(H・N)

## 五月に鹿児島で研修会を開催

### 聖アンドレ福音宣教学校

使徒アンドレ福音宣教学校が実施する研修会の鹿児島開催が決まった。使徒アンドレ福音宣教学校は一九八五年にメキシコでブラド・フロレス師らによって始められたもので、現在世界六十カ国で二千以上の宣教学校が存在している。同宣教学校は、使徒ア

ンドレがイエスと出会って一晩をともに過ごした後、兄弟シモンに「私は救い主と出会った」と言つて、シモンをイエスのもとに連れて行ったように、宣教の方法を学ぶのでなく、キリストとの出会いと愛と救いの体験をさせる養成機関である。

研修会では「今までとは違う神の愛の体験で回心し、神との深いかわりが生れる」「教会と人々のかかわり合いが深まる」ともに宣教のために働く意欲が湧いてくる」などの実りがあるという。 郡山司教の認可を得、教区が主催となって教区本部会議室で開かれる同宣教学校の研修会は次の通り。 日程 五月八日(金) 十八時三十分～二十一時

### キリスト教一致祈禱会

一月十八日(日) 午後、鴨池教会でキリスト教一致祈禱集が開かれ、生憎の雨模様にもかかわらず八十人余のプロテスタントとカトリックの兄弟姉妹が集まり、熱心に一致を祈りまたその後の茶話会で交流した。

## YET

今年もランニング開始は元旦だった。のんびりスタートの例年と違ったのは、日の出にもお目にかかりたいと目論んだこと。でも残念なことに、その日の空は踏ん張り不足、雨雲との争いに負け、桜島の裾まで来ていた太陽なのにその姿を見させてはくれなかった。おかげでその後は時折激しく降る雨の中を孤独に走り続ける惨憺たる姿を世間に晒す羽目となった▼ランニングを日課にし始めてから二十八年。きつかけを与えてくれた師匠は「毎日走り続けるコツは、そうしないための言い訳を探さないこと」とメッセージをくれた。「仕事」「天気」「等々、走らないための言い訳は探せばいくらでも見つかるというのだ。このメッセージにどれだけ助けられたことか。ただし気乗りのしないときには本当に厄介なものだった▼これまでに達成できた試しはないが今年も目標というものを掲げた。今回は家族へ信仰を伝えること。ただ困ったことに己の生き方が問われることになった。当然日々の生活の中で、祈る姿も見せなくてはならない。しかし根っからの怠け者である。信仰を育むための「行」をやらなかったための言い訳はいくらでも思いつく。この自信は百分。としてもそれではあまりに情けない。だから「ちゃんと祈れるよう」祈つてみようと思う。さて、我が家族、この程度の餌をつついてくれるのだろうか。

1 ※参加者を温かく迎える、(川内教会：橋口神父) ※主をお招きするための祈り、(川内教会：石田幹雄) 聖歌でも可

※リーダーによる説明(15分)、今日の講座の流れ(司会者：石田)

1) 分かち合いのルールについて

①自分自身を見つめ実際の体験を素直に話す。②一人で、話したいだけ話すのでなく、聴くことを大切に。

③テーマからそれないように。④悩み相談にならないように。⑤分かち合われた内容は他言しない。⑥人が分かち合ったことを評価・批評・批判しない。⑦キリストが語って下さることに、共にいて下さることを感じ取るように。

2) 水に関するいくつかの写真をテーブルの上に数枚用意する。ローソク、十字架、テーブルを中心に円形に着席。

前回は血の意味を考えました。アメリカ社会で差別されていた黒人の解放運動の中で殺されたキング牧師の血が流されたことで、差別されてきた黒人の解放が実現して行きました。そして先日、合衆国で初めて黒人大統領オバマ氏が誕生したことは人種差別がいかに根柢のない不当かつ心情的な思い込みだったか、またどんな差別意識も互いに理解し合うことで乗り越えられ、苦しみから解放されていくことができることを教えています。

《ゆつくりと二回朗読されます》

今回は「水」をテーマにしています。砂漠や乾燥地帯に比べて、年間降水量が豊かな日本では農作物を作っている人以外には水の恵みを感じることなど殆んどないのが現実です。現代は、地下水の汚染や水道のカルキ臭を嫌って安全で、美味しく冷やしたペットボトルのミネラルウォーターやお茶を自動販売機でよく買います。タダだった水もお金で買うと益々、自分で買ったんだから、飲んで当然の感覚になってきました。クーラーも冷蔵庫もなかった時代には夏の暑い日、井戸水の冷たい水が嬉しく、感謝の気持ちで一杯

# 解放の水

北薩地区宣教奉仕者(信徒使徒職)養成講座

出水教会主任司祭 大松正弘

でした。米・魚・野菜・肉など食糧の多くが輸入され、スーパーでお金を払って買うだけで、感謝することも少なくありません。農畜産物を作ったり、育てたり、魚を獲ったりして下さった方の苦勞を思うことなく、お金を払ったんだから食べて当然、ありがた、もつたないという言葉が死語になってしまった感があります。私達は「私達を支える自然」の厳しさと豊かさ、そのありがたさを忘れてしまっているように思います。なぜそうなるってしまったのか分りませんが、現代という高度に専門化された職業分化やお金の

問題があるのかも知れませんが、私達の周囲にある様々なものの中に「価値の無いもの」に対して私達は無関心になり、その「無い」はせいぜい「貨幣の量」の違ひとしてしか捉えられなくなるといって私達に私達は任んでいいのです。お金で買ってはいいですが、これらのものは全て「大地の恵み、労働の実り、私たちの命の糧になるものです」。無条件に神から自然を通して、頂いたものの中で生かされているのです。エジプト脱出のイスラエルの人々にとつて「水」はその代表でもあったと思われ、私達も

か? ※小グループに分かれての分かち合い。自分の生き方と照らし合わせて(各問いかけについて10分、全体では30~40分) ※質問は一つずつ分かち合いと報告をしながら進んでいきます。

出エジプト記14章19節(省略)

①イスラエルの人々が信仰と水によつて救われたと言えぬのは何故だと思いませんか?

②信仰の旅路を歩む上で私達をへばむもの「奴隷」にしているものは何でしょうか?

③あなた自身の感謝の祈りを作して下さい。(隣同士での分かち合いと全体での発表)

1 (その経験がなくては今がないもの)で、(お金で得たもの)ではないものについて思い出があるでしょうか?ある人は配偶者と出会って結婚したこと、子どもを授かったこと、試練や苦しみの中で神様や山の方に支えられたこと、重い病気をしたことさ感謝だったという方もおられます。

2 このような思い出を振り返る時、私はどのような感情を持つでしょうか?それは何故だと思いませんか?

とを知ったからです。何度もこの神様から離れてしまいたいながらも、変わらぬ愛で私達を包み込んでいて下さっているからです。

1 リーダーによるまとめ。内容についての質問やコメントが出されます。

2 祈り(自分を神の前に置き、振り返る。10~15分。サダナの祈りによる)

今日の一日、何がありましたが?私は神様からどんなものを頂いてきたでしょうか?それは自分にとって何よりも必要なものだったでしょうか?時として神様に信頼できないこともありますが、それは私の心があなたに向つていない時でもあります。いい時も、悪い時も、悲しい時も、嬉しい時もあなたは私のすぐ傍にいて下さることを深く受け止めて下さいます!

次回は入来教会で二月十五日(日)午後二時から行います。

## 二 コ ツ

MEの仲間から今年も楽しい年賀状が届いた。デザイナーの彼にとつて年賀状作製はお手の物。毎年の干支が鮮やかな色彩のもと、どうやら自分がモデルらしい達磨さんの絵とともに賀状の裏と表に描かれて届くのが恒例。

今年の表には三つの達磨さん。「昨年の出来事」というタイトル付。最初の達磨さんは念願のガリラヤ湖巡礼が実現したのでニコツ。二番目は、金融不安の拡がりに今後どうなるのか心配なのでシュン。そして、最後は派遣切りで多くの人々が路頭に迷うことになったので企業のエゴにムカツ。そして、「ニコツが皆さんの上に沢山ありますように」と結ばれていた。

感受性豊かな芸術家の彼らしい平和の挨拶に心からうなづいたのはボク一人ではあるまい。

そういう彼の祈りのような挨拶が、相変わらず暗い ニュースの多い日本の社会で現実のこととして体験できたのは嬉しい。身近なところでは、昨年より参加者が二千人も増えたという菜の花マラソン。宿に溢れた人々には自治会が公民館を提供したのだという。また、寒空のもと何時間も沿道に立ち、飲食物を提供した人々、可愛い手に飴玉を差し出す子供たち、さらにバンド演奏に太鼓と地域の全住民が善意の塊となつたようだった。疲勞した生身の五体には百万ドルのニコツの連続だった。

一方、もっと深刻なところでは、職に食、そして宿を失った人々の生活支援に立ち上がった地方自治体や民間ボランティア。まさに捨てる神あれば拾う神あり。中には、全従業員に雇用不安は与えないと約束した大企業もある。政治家たちも、いろいろと不評を買

いながらも「世界に先駆けて不況を脱出するのは日本だ」と頼もしい。

人は、どんな辛い中にあったとしても、いつもシュンとなつて肩を落し、誰に対してもなくムカついてばかりいたわけではない。人間はお互いにニコツを送り合いながら生きて行きたい。そんなDNAを神様からいただいているにちがいないのだ。

そうは言っても、わが身を振り返ると、なんとささやかなことでムツとしたり、無愛想になつたりすることかど自責の念は絶えない。それでも、神様からいただいた本来の自分に立ち戻りニコツの送り手になるべく、どんな場面でもニコツとなれる秘訣を身に付けたいと思う。



### +KABAYAN SEKSIYON+

#### "Ang Pananampalataya sa Diyos"

Ang pananampalataya sa Diyos ay nasasalig sa mismo ng paghahayag ng Diyos ng kanyang sarili sa pamamagitan ng Kanyang mga salita at gawa sa kasaysayan ng kaligtasan. Maraming kadahilanan ang nagpatibay rito para maniwalang ginawa ito sa loob ng mga dantaon na tumutugon sa hamon ng Biblia na: "Humanda lagi na magpaliwanag sa sinumang magtatanong sa inyo tungkol sa inyong pag-asa" (1 Ped 3:15)

Mga katangian ng Pananampalatayang Kristiyano: Lubos at Ganap..Pinaghambing na ng Matandang Tipan ang pananampalataya sa "taong dimakapagligtas" at taong may pananampalataya sa "Diyos na lumikha ng kalangitan at ng lupa...na walang-hanggang Hari". Tanging ang Pananampalataya sa Diyos ang tumatawag para sa isang lubos at ganap na pagkatig. Si Kristo mismo ang nagkakaloob, lalo na sa kanyang Pagpapakasakit, Kamatayan at Muling Pagkabuhay, ng pinakamagandang halimbawa ng lubos at ganap na paglalaan ito ng sarili sa Diyos.

Santatluhan..Para sa ating mga Kristiyano, ang Pananampalataya ay isang pagkatig sa Santatlong Diyos na ipinahayag ni Jesu-Kristo, ang ating Panginoon. Ito ang ating pakikipagkaibigan kay Kristo at sa pamamagitan ni Kristo kasama ng Ama, sa kanilang Espiritu Santo. Sa pamamagitan ng pagsaksi ni Kristo sa Kanyang Ama sa kanyang turo, pangaral, mga kababalaghan at lalung-lalo na sa kanyang Pagpapakasakit, Kamatayan, at Muling Pagkabuhay, naniniwala tayo kay Kristo, ang ating Tagapagligtas, sa Ama, at sa Espiritu Santong ipinadala sa ating mga puso. Ang ating Pananampalataya bilang mga Katoliko, kung gayon, ay binubuo ng ating personal na pananalig at paniniwala sa Diyos na ating Ama, na ipinakilala ni Jesukristo, ang Kanyang sariling banal na Anak-nanaging-tao, at sa kanilang pananahan sa atin sa pamamagitan ng Espiritu Santo, sa Simbahan.

Nagmamahal, Nagpaganap at may Misyong Ang ating Pananampalatayang Kristiyano ay tunay na nagbibigay-buhay at ganap sa pamamagitan lamang ng Pag-ibig, sapagkat "ang hindi umiibig ay hindi kumikilala sa Diyos, sapagkat ang Diyos ay pag-ibig". At upang maging Kristiyano, ang pag-ibig na ito ay kailangan hindi magkahiwalay na pag-ibig sa Diyos at pag-ibig sa kapwa, gaya ng kay Kristo.

### 中高生司牧に新しい息吹 鹿兒島でのクリスマス準備会

手をつないだ相手が異性だった子はちよつと恥ずかしそうに唱えた主の祈り。

これは十二月二十三日(火) 教区本部会議室で開かれた「中高生クリスマス準備会」



この日は十二月二十三日(火) 教区本部会議室で開かれた「中高生クリスマス準備会」での締めくくりのミサの一幕。ほほ笑まじさが漂っていた。

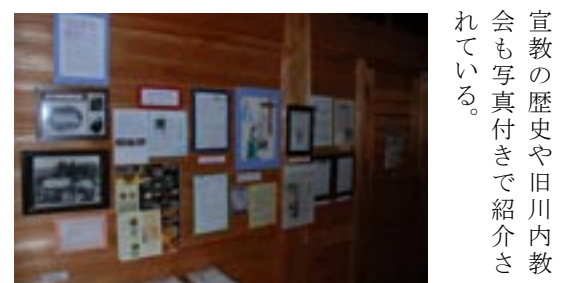
的はその名の通りよいクリスマスを迎えるための準備。祈りで、ゲームで、食事をとるにして、グループワークで、ミサでと一生懸命クリスマスについて学ぶ姿が新鮮だった。

このほど川内教会(橋口啓悟神父)に福者レオ税所七右衛門の資料室が設置された。

### 福者レオの資料を展示

川内教会

このほど川内教会(橋口啓悟神父)に福者レオ税所七右衛門の資料室が設置された。



宣教の歴史や旧川内教会も写真付きで紹介されている。

この会を主催したスタッフの一人は「青年たちが中高生時代にお兄さん、お姉さんを見てもらったら嬉しかった。そして今、この会に参加

### 私のそれでも体験

志布志教会

池之上靖子

リスゴー・デービット

ある男がぶどう園にいちじくの木を植えておき、三年もの間にいちじくの木に実を探しに来るのに、見つけたためしがないので男は園丁に木を切り倒すように言いました。しかし園丁は「ご主人様、今年もこのままにしておいて下さい。木の周りを掘って肥やしをやってみます。そうすれば来年は実がなるかもしれません。もしそれでもだめなら切り倒して下さい」と言いました。

ます。私達は、いつも子ども達を世話し、食べさせ、服を買い与え、学校、スポーツなどが必要な出費を続けています。それもいつか、子ども達が自分の力を発揮でき、実りある人生を送れるように願っているからです。

かのようにしています。しかし、子ども達の成長に伴って、教会と主人と子ども達との間には多くのぶつかり合いや子ども達の反抗もいっぱいありました。それでも、その度に、宗教の教育は自分の役割と決めている主人は、時間も惜しまず信仰の大切さを子ども達と話し合い、親としての思いを伝えてきています。

子ども達の木の周りには、私たちが親以外の多くの人達からも、抱えきれないほどの貴重な肥やしがいっぱい詰まっています。特に長男は、過去二回支援を頂いてワールドユースデーに参加し、世界の青年達と分かち合いを体験しました。そんな体験が昨年のクリスマスの日、サンタの格好をして、ささやかなお菓子のプレゼントを持って近隣や町内の老人ホーム、幼稚園を訪問して回ったと言うのです。彼の突然の訪問に皆さんびっくりされたそうですが、子ども達

### 短信

加してくれた中高生たちが教会学校の子どもたちの面倒をみてあげたいと言いついてくれた」と嬉しそうに語った。

2月		今日の暦
1日(日)	年間第四主日	
2日(月)	主の奉獻	
4日(水)	ボツフィ神父命日(一九八八年)	
5日(木)	日本二十六聖人殉教者	
8日(日)	年間第五主日	
11日(水)	世界病者の日	
	教皇ヨハネ・パウロ二世は、一九八四年二月十一日(ルルドの聖母の記念日)に使徒的書簡『サルヴィフィチ・ドローリス』苦しみのキリスト教的意味』を発表し、翌年二月十一日には教皇庁医療使徒職評議会を開設しました。そして一九九三年からこの日は「世界病者の日」と定められ、毎年教皇メッセージが発表されています。病者がふさわしい援助を受けられるように、また苦しんでいる人が自らの苦しみの意味を受け止めていくための必要な助けを得られるように、カトリックの医療関係者だけでなく、広く社会一般に訴えていかなければなりません。医療使徒職組織の設立、ボランティア活動の支援、医療関係者の倫理的養成的養成、病者や苦しんでいる人への宗教的助けなども重要な課題です。	
13日(金)	ハンマ神父霊名(ヨルダン)	
14日(土)	出口市太郎神父命日(一九五八年)	
15日(日)	年間第六主日	
16日(月)	奄美の宣教司牧を考える会	
22日(日)	年間第七主日	
25日(水)	大熊教会堅信式	
	灰の水曜日(大斎・小斎)	
	四旬節愛の献金(四旬節中)	
	教皇は毎年、四旬節に向けてメッセージを発表し、キリストを信じるすべての人が四旬節の精神をよく理解して、回心と愛のわざに励むよう呼びかけています。この呼びかけにこたえて日本のカトリック教会は、虐げられ、差別され、見捨てられ、いのちの危機にさらされている人々との共感を大切にするよう一人ひとりに訴えるとともに、四旬節中の「愛の献金」を奨励しています。	
	この「愛の献金」は、カリタスジャパンを通して海外諸国と日本各地に送られ、そして、貧困、失業、飢餓などに苦しむ多くの人々のいのちを守るために、また彼らの自立を助けるために使われます。	
27日(金)	東條一浩神父命日(二〇〇一年)	

クリスマスミステリーツアー  
十二月二十日(土) 古田町教会で小中学生を対象にした本日のクリスマスの意味を探る集い「クリスマスミステリーツアー」が開かれ、大勢の子どもも参加した。

クリスマスミステリーツアー  
十二月二十日(土) 古田町教会で小中学生を対象にした本日のクリスマスの意味を探る集い「クリスマスミステリーツアー」が開かれ、大勢の子どもも参加した。

# 信仰と漢字(三)

純心学園 岡 俊郎

ミサの福音の中の「徴税人や娼婦たちは信じたからだ」(マタイ21・32)を読みながら「金持」という漢字を思い出しました。何時も「金は宗教心(寺)の働き(才)」と解釈しながら、分かったような分からないような気持ちでいました。

徴税人ザアカイが主の前に「自分の持ち金が皆から税金として集めたもので、不正に取り立てたのなら、四倍にして返します」(ルカ13・8)とタンカ(啖呵)を切っている姿が思い浮かんできます。ザアカイの心に何が起ったのだろうか?と自分に問うてみました。エリコの町の人々から嫌な不正(わるい)の取税人として軽蔑の目で見られていたザアカイは救い主として来られた方、皆が大騒ぎになって迎えている方を一目見たいと木に登りました。

自分の中には救いへの働きかけがずっとあったことに眼が開いたのでしよう。救いの漢字が示す通り、求め続けていたのです。天から授かった命の働きとしての人間であることを自覚する機会でした。「授かる」とは受ける才(手)、受ける働きなのです。生きるには受け身なのです。それで人生を恵み(芽育み)として味わった高齢者は、心から「生かして頂きました。有難いことです」

からの叫びを伝えます。ザアカイの家が神の子らの住まいになることを確認されたのです。

住の漢字の示す通り人間が主であるとは救い主の働きの実りなのです。恵まれたザアカイは命の芽が育まれるのを感じて、大きな感謝のうちに「主よ、財産の半分を貧しい人たちに施します。…」と命を授かった人間としては、救い主の生き方に自分を合わせることで、生きていることの歓喜(よろこび)を味わったのでしよう。主という漢字は「二燈明」です。自分を燃やし尽し周りを明るく温かく生活できるようにする方が主(あるじ)なのです。ザアカイの金持は本物でした。自分の欲を満たしますます欲張りになる偽りの金

持ちではなかったのです。金の流れが生活の土台・中心と見がちで、次々と仕合わせな人生を壊しかねない現代社会に一番大事な魂の開眼、やる気満点の生活を一日一日しっかりと味わうことではないでしょうか。合掌・感謝

## 文芸

### 短歌

鴨池教会 前田 儀子

除夜の鐘聞きつつおもふこの秋に逝きたる友の黒曜のまみ時雨つつ夕日がさつと射すときに桜島は大きな虹の弧を抱く

鹿児島 春山マリ子

人生の残り少ない楽しみに心うばはれ忙しき日々一人身の言うに言はれぬ不思議さは甘い香りに包み守られ

純心学園 川上 和

アテナイのアレオパゴスの丘の風パウロの天声世々吹きにけり

純心学園 岡 俊郎

歌心神のみ心ひたすらに今日も全てが天の恵みと分かち合い魂のこえ響き合う救いの業に与かり集う(アルファコースに参加して)

ザビエル 六戸 惇子

艦綱を解き放ちたる救い主胸にい抱きで迎えたもつ(二テモテ4・6・8のみ言葉とともにこの詩を松山房子さんにささげます)

俳句

鹿児島 徳永ノブ子

初ミサや祈るころの清し島の灯の祈りに満ちてゆく聖夜

鹿児島 春山マリ子

冷たさに負けて痛いも寒い空

国分 政 ノブ子

少年の初聖体やクリスマス北風やかたかた走るランドセル

純心学園 川上 和

湖面鏡初雪紅葉映しおり

純心学園 山頭 信子

日向ぼこ風花の名の子ひとりごと

長崎や列福祝儀に染まりたり

## ご案内

マクロビオテック ●正食料理教室のご案内 講師:角屋敷まりこ正食協会料理講師と岡俊郎神父(イエズス会) 2月10日(火)10時~15時 ザビエル教会ホール 定員:25人 参加費:2,000円 エプロン、三角巾、筆記用具を持参のこと。参加希望者は植村まで。TEL& FAX 0995-43-3796

●連合壮年会主催黙想会「救い」 2月22日(日)10時~16時(9時30分受付) 鴨池聖母幼稚園三階ホール 指導:岡 俊郎神父(イエズス会・純心聖母会チャプレン) 会費:500円(昼食代として) 問合:各小教区壮年会役員か徳永善博 TEL 099-206-7221

●み言葉と祈りの集い・霧島 裏辻洋二神父(イエズス会・長東黙想の家)と共に聖書のメッセージに基づいて恵みを祈り求める集い。テーマ「わたしを求めよ。そして生きよ」(アモス5・4) 3月30日(月)10時~21時・31日(火)9時~12時 マリア山荘 1泊2日5,000円(日帰り2,500円)1日だけの参加も可。問合・申込(迫田 TEL 099-229-3975・柳 TEL 099-256-3090)

●アルファコース(キリスト教入門講座) 3月5日~6月18日まで毎週木曜日18時30分~21時 ザビエル教会 夕食・ビデオ視聴・分かち合い 会費は500円以内の自由献金(食事の材料代として) ※申込者が12人になり次第切 申込&問合 柳 TEL 099 (256) 3090・090-4587-2187 松村 TEL 099 (248) 2412・090-9499-0198

## 教区本部で「和善の聖書」

昨年秋開催された教区評議会(テーマ「みことばに触れ、食べ、生かされる」)にこたえる形で「生活からみことば。みことばから生活」に焦点を当てた講座「和善の聖書」が開かれることになり、二月十六日(月)と十七日(火)の二日間(十八時~十九時三十分)、教区本部で導入のための入門講座が開かれる。

この講座では使用するテキストや講座の内容についての解説があるほか受講者の関心事について説明がある。会場は教区本部二階で、正式な講座は三月にスタートする予定。講師は松田清四朗神父(始良教会)で、鹿児島市内に限らず多くの人に参加して欲しい。個人での参加で構わないができることから一つの教会から三~四人のグループでの参加が望ましい。日本各地、主にアジアで体験した学びの体験も紹介したい」と語っている。

## スピリチュアル研修会

▼一日研修会「スピリチュアルとは」

日時 3月7日(土) 9時30分~16時30分

参加費 五千元(学生三千元)

▼オリエンテーション「スピリチュアルケアワーカーへの第一歩」

日時 3月8日(日) 9時30分~16時30分

参加費 三千元

一日研修会もオリエンテーションも会場は教区本部二階会議室、講師はW・キップス神父(NPO臨床パスツール教育研究センター理事長・レデンプトール会) ※どなたでも受講できますが、現在精神療養の治療中の方と近親者との死別を半年以内に体験された方を除きます。これは研修がスピリチュアルケアの与え主となることを目的としているためです。尚、事前の申込が必要になります。

申込&問合は松村恵理(臨床・パストラル教育研修センター南九州ブロック) TEL 099 (248) 2412 携帯 090-9499-0198

## ムイベルガー神父と行く 5月14日(木)~23日(土)

### トルコ巡礼の旅 10日間

—聖パウロと聖ヨハネの航跡を訪ねて—

旅費:15人以上の場合458,000円(燃料サーチャージ料等別) ※一人部屋使用の追加料金39,000円  
巡礼先:イスタンブール⇒アダナ⇒カッパドキア⇒コンヤ⇒バムツレカ⇒サルデス⇒イズミール⇒エフェソス⇒クシヤダス⇒パトモス島など ※パウロの世界と黙示録の7つの教会を巡ります。

問合せ・申込先 グローバルユースビューロー TEL 03-3505-0055  
カトリック谷山教会 TEL 099-268-2084



カトリック新聞 へえ、日本の教会は今こうなんだ... ザビエル  
カトリック新聞は、日本のカトリック教会唯一の週刊全国紙です。全国、海外の読者様のお手元へ毎週届きます。また、全国のサンパウロ・女子パウロ会書店でも販売しております。  
1部本体価格150円(税・送料別) 購読料金(前納、税・送料込) 半年4740円・1年9480円  
見本紙贈呈いたします  
〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 日本カトリック会館5階 カトリック新聞社 TEL 03-5632-4432 FAX 03-5632-7030 Email kodoku@cwjpn.com